

事業所名

あおぞら縁ちくしクラブ2

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

3日

法人（事業所）理念		事業所：主役は子ども、生きていくためのタフな心を育む											
支援方針		自分自身の人生を歩んでいくため、私たちは、地域社会の中で子ども達の手を引くだけでなく背中を押していきたい。新しいことに挑戦して失敗しても、リカバリーできることを知ることで、遅しさや人の痛みがわかる人になるよう支援を行っています。											
営業時間		平日 休校日	11 8	時	00 30	分から	20 17	時	00 30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な日常動作を身に付けられるような支援を行います。（手洗い・着脱・食事・トイレトレーニング） 健康状態の把握、変化に対応していきます。 室内環境に配慮し、時間や空間を分かりやすく示します。 リビングスキルを向上させるため活動の中にお手伝いを取り入れます。 休校日の昼食に必要な買い物は自分でできるよう買い物支援を行います。 危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動が分かるような訓練を行います。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を図るため公園遊びやボール遊びを積極的に行っています。 視覚や聴覚、触覚の感覚を十分に活用できるよう、音楽鑑賞や水遊び、レゴブロックを用いた活動を取り入れています。 感覚の過敏や鈍麻に対して、個々に合った環境調整等を行っています。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール支援（スケジュールボード、絵カードの導入） 毎日のおやつ時間に模擬買い物体験ができるように支援しています。 始まりと終わりにはタイマーを使用しています。 工作活動には工程表を作成して使用しています。 公共施設へのお出かけを取り入れて公共ルールやマナーを学べるよう支援しています。 											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 人との相互作用によるコミュニケーション能力が獲得できるように集団活動を取り入れチームを作るなど遊びに取り入れています。 言葉の力を伸ばすため日常生活の中でアプローチを行います。 パラレルトーク（子どもの行動や気持ちを言語化する） リフレクティング（言い間違いを正しい言葉に直して子どもに返す） エキスパンション（子どものセリフに1つ情報を加えて返事をする） 											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びや、模擬店遊びを活動に取り入れ社会性の発達を支援します。 一人一人に目標を立ててもらい、一日の終わりに振り返りをし達成感を感じれるような時間を作ります。 法人内の施設に訪問し普段関わらない人と会う体験をしています。 戸外活動を取り入れて行事や季節を感じる体験作りを行っています。 											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> モニタリング 面談（支援計画書評価・課題の見直し） 連絡帳にて保護者と情報共有を図る 延長サービス 						移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校、関係機関との連携 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 法人内他部署との交流 地域のコミュニティセンターイベント参加 地域のボランティア導入 						職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 外部研修 法人内研修 事業所内研修 支援会議 法人内委員会参加 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 音楽コンサート・お花見・水遊び・ハロウィン・クリスマス会・初詣 避難訓練 											